

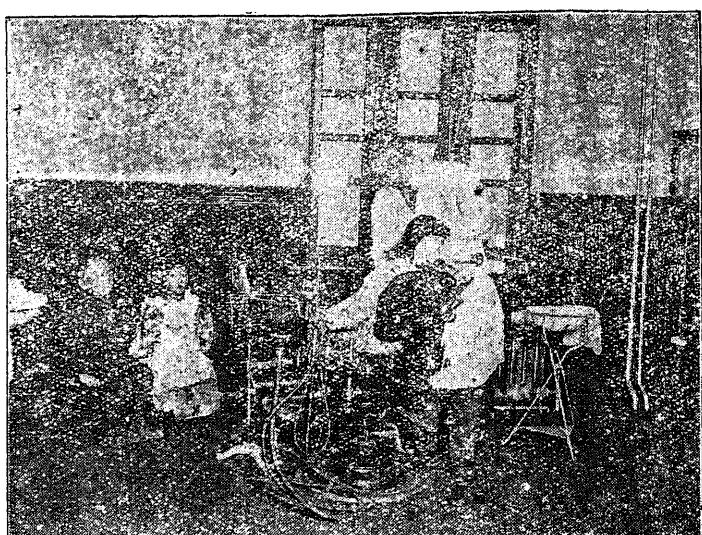
更に幼稚園は幼児の生活に關する研究調査をなして幼児保育の方法を研究することが今日の幼稚園に於ける一使命ではありますか。進んで家庭に於ける保育の缺を補ふと共に家庭に於ける幼児保育を指導し啓發することも非常に重要な任務であると考へられます。また女學校の教育に於て將來の母たるべき女生徒が保育の方法、保育の趣味、母性愛の陶冶上幼稚園を必要とするのであります。是等は寧ろ遠つた意味に於ける幼稚園の使命であります。實に三省すべき重要事と考へられるのであります。(一四・一・三二)

幼児の口腔衛生について

金 谷 増

幼児の身體養護につきましては主としてその母親の責にあることゝ存じます。ところが實際におきましては中々さう参りません。いつも幼稚園で園送とともに氣をつけねばならんことが多いのでござります。「お宅のお子さんは結膜炎であるから眼醫者へやつて下さい」あなたのお子さんは耳だれが出て居ますから一度耳鼻科へおつれ下さい」或は「目方が急にへつたがどこかに異常がござりますまいか」と絶えず注意をしなければならんのでござります。然に口腔歯牙の衛生につきましては殆ど注意を拂はれて居ないことは實に驚くばかりでござります。これは昔に當部内のみならず我が國ではまだ一般に幼兒期に於て尤も大切な口腔衛生の事は餘り注意せられて居ないのは甚嘆かはしい事だと思います。

さて私が幼児の歯に注意を始めましたのはかなり以前からのことでございまして幼児が最も樂しむお辦當の時間になりました他の子どもはしそくお箸を取り出すと歯の痛む子どもはシクシク泣き出す、空腹である、食慾が起る、食物を口



に入ると歯が痛み出す。その有様が實にかわいさうで堪りません「どうか幼児に歯痛を覚えさせたくないものだ」と思つたのに始まつた事でございまして或は含嗽を獎勵してみたり或は齲齒の豫防法をお母様方に話してみたりいろいろしてみましたがあつても思ふ様に参りません何とか徹底的に着手して見たいものだ、それにはどうしても専門醫に診察してもらふ必要があるどうかよい先生を得たいものだと苦心して居りました、ところが偶々當大阪市の嘱託ドクトル濱野松太郎氏は子供の歯牙を特に御研究になり御造詣深いことをきくまして多忙な氏をわづらはすこと願ひました、幸同先生にはこちらの切な願望をいれられまして時間の都合をおつけ下さいまして全く厚意的に全幼兒を親切に御診察下さつたのでござります。

ところが始めて診て貰つた結果を申して見ますと驚くことには二百人餘りの幼児の中たつた一人を除く外は全部齲齒に罹つて居たのでござります、しかもその齲齒の數が一人平均一本即約二十本歯が生えてゐるその半數以上を有して居ると云ふことが分りました、これは由々しいことだ如何にすれば有效な處置が出来るかと思ひましたが先づこれには家庭の方に口腔衛生の必要な所以を知らせる必要があると思ひました。それで日を期してお母様方のお集りをして右の先生に来て貰つて講話を願つたのでござります、そ

の要領を申して見ますと

第一 齒齒と全身病との関係

齒が悪ければ咀嚼不十分なため直接胃腸を害するのは云々迄もなじことでござりますが、齲齒のため歯根に膿がたまつてそれから蓄濃症を起したり、或は淋巴腺を犯すなど皆歯牙から起る直接の病氣でござります、ところが歯と全々關係のない眼を悪くしたり心臓の鼓動をはげしくしたり、或は腎臓が犯されたり或は氣を狂はせたり全く縁のない病氣を齒から引起することが随分あるのでござります。

第二 精神に及ぼす影響

歯牙の悪い子どもは常に不愉快な状態にあつて、自然體の働くに及ぼし學校の成績宜しからず、智能の發達と關係をもつて居るものであります。

第三 乳齒の任務

これは發達の盛な幼兒の食物を咀すると云ふ大きな任務でございますが、尚この外に永久歯の生える導きをするのでござります。即ち健康な乳齒は適當な時期におきまして歯根の吸收作用を起し、その根が自然に吸收されて萎縮し下から生えてくる。永久歯によい場所を與へて永久歯の成長につれて自然脱落するものでござります。もしその乳齒が齲齒のため枯死して居りますならば、そんな作用は行ひません。従つて永久歯はその生え場所を失つて勝手に悪い場所へ生えて参ります。そして歯列を悪くするのでござります。ですから乳齒は物を咀嚼する外にこんな大切なことを持つて居ることを忘れてはなりません。

第四 六歳臼齒

これは口中の大黒柱と云はれて居る大切な歯で、幼稚園の年長兒にそろ／＼生え出す前より六番目の歯即ち現在發生して居る乳歯の奥に生える上下四本の歯であります。これは脱けたあとに生えるのではなく、前に申す通り現在ある乳歯の奥に生えるのでございますから、全く知らぬ内に生えて、知らぬ内に齶齒にかゝつて居ることが多くあるのでござりますから、特に注意しなければなりません。

第五 幼児歯牙の保護

これを要するに、幼児の歯牙を大切にする事は、生涯を通ずる健康の鍵を與へることになるのでござりますから、左の點に注意をして貰ひたいと思ひます。

A 口中を清潔にすること

即ち食後毎の含嗽は極幼少の頃から續けさせること、幼児に適當な歯楊子を選んでなるだけ早くから使用させ朝も就寝者もなることなら食後毎にも用はせること。

B 手當を早くすること

乳歯でも永久歯でも齶齒を見つけたら、早く醫者に手當をして貰ふこと、從來の様に乳歯は生え代はるとて打ちやつておくは最もよろしくないこと。

但し軽いむしばは普通の人では分りかねますから、事情が許すなら時々専門醫に診察をして貰ふことが大切であります。

C 圓満食をとらしむること

これは身體の發育上大切なことのみならず、歯牙の發達の上に大に大切なことであります。肉でも野菜でも硬いものでも軟いものでも適當にとりませて與へることが必要であります。軟い物に片よると咀嚼力を要しませんから、自然

顎骨の發達がわるくなるのでござります。

以上は家庭の母親と幼稚園の先生とが相提携して効を奏することでございますが、お母様方がことに注意をして置かねばならぬことゝ思ひます。云々

尙その他歐米諸國の早くより歯牙衛生に注意せらるゝ實際ブラツシ使用法等委曲話されましたので、お母様方も大に感動せられ、はじめて幼児の歯に注意しなければならんことを知られた様でござります。

それから日を代へて、數人づゝのお母様を呼び、一人一人のお子様について、直接醫師から「この歯はおつけなさ」 「この歯は今少ししてから抜くとよろしく」 「この膿をもつて居てはちつとも早く抜いて治療しなければなりません」と一々注意を與へて貰ひました。

それで一方子供には歯を大事にすることを申しまして、含嗽やブラツシの使用法などの練習をさせましたが、保護者の方にも子供の方にも大に徹底して參つたのでござります。永く幼稚園に居る子どもの家庭などでは、その園児一人に止らず、兄弟も、兩親も、それゞゝ手當をしてよろこんで参るのが隨分ござりますので、折角注意した甲斐があると思つて嬉しい思ひます。

弊園學務委員長伊藤萬次郎氏この擧に共鳴せられまして、幼児歯牙治療に關する機械器具一式寄贈せられました。

(この寫眞は、その施設と濱野ドクトルが治療せられる所でござります)

これを利用いたしまして、治療の行き届いて居ないお子さんの手當をして上げるなら、大に成績の擧げられることであらうと存じまして、大に樂んで居りますと共に同氏に對して深く感謝して居るしだいでござります。